



National
Institute of
Technology,
Kumamoto
College
Yatsushiro
Campus Alumni
Association

楷友会会長就任のご挨拶

熊本高専八代キャンパス同窓会楷友会会長 中山 諭扶哉



このたび、熊本高等専門学校八代キャンパス同窓会「楷友会」の会長を拝命いたしました、旧八代工業高等専門学校 機械電気工学科17期生の中山諭扶哉（なかやまゆふや）と申します。歴史ある本会の運営という重責を担うにあたり、身の引き締まる思いでいっぱいです。

まずはじめに、長年にわたり楷友会の発展と母校との連携強化にご尽力されてきた亀田前会長に、心より深く感謝申し上げます。亀田会長は在任中、同窓会活動の活性化にとどまらず、在校生との関わりや、地域社会との連携にも積極的に取り組まれました。特に記念事業の推進や組織運営の基盤整備など、会の将来を見据えた数々の取り組みは、私たちにとって大きな財産であり、誇るべき軌跡です。会員同士のつながりを大切にしながら、温かな人柄と確かな行動力で会を支え続けてこられたその姿勢には、多くの同窓生が敬意を抱いております。

私は、そうした亀田前会長の志と足跡をしっかりと受け継ぎ、楷友会が今後も信頼され、愛される存在であり続けられるよう、微力ながら誠心誠意努めてまいります。

私自身、卒業から今日まで技術者として歩む中で、母校で学んだ知識や考え方が常に自らを支えてくれました。高専での学びと出会いは、今でも私の原点であり、これまで積み重ねてきた経験の礎でもあります。同じような思いを抱かれています同窓生の皆さまも、きっと多くいらっしゃる

ことと存じます。

母校・熊本高専八代キャンパスは、現在も進化を続けています。AIやIoT、カーボンニュートラルなど時代の最先端技術に応じた教育研究が進められており、地域課題解決への貢献、産学官連携による実践的なプロジェクトも多数展開されています。また2026年度からは学科再編も行われ、柔軟で実践的なカリキュラムが構築されるなど、次世代を担う人材育成に向けた環境が整いつつあります。国際交流の面でも、留学生との交流や海外派遣の取り組みが広がっており、グローバルな視野を備えた学生の育成にも力が注がれています。

このような母校の前進は、私たち卒業生にとっても大きな誇りであり、同時に私たち同窓会が果たすべき役割を改めて認識する機会でもあります。楷友会としては、在校生への支援やキャリア形成の機会創出、また、卒業生同士の交流の場を通じて、「同窓生であることの価値」を高めていけるよう取り組んでまいります。

今後は、時代の変化に応じた新たな同窓会の形を模索しながら、より開かれた、参加しやすい会を目指してまいります。楷友会が、世代や立場を越えて集える“心の拠り所”となり、母校と社会を結ぶ懸け橋となるよう、役員一同とともに力を尽くしてまいります。

末筆ながら、同窓生の皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年5月

近況のご報告

熊本高専校長 高松 洋



楷友会の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

私が熊本高専の校長を務めて4年目になりました。喉元過ぎれば熱さを忘れると言いますが、コロナ禍の中での就任当初の状況をほとんど忘れて毎日を過ごしております。いつも学生諸君の様々な活動に一喜一憂していますが、昨年は、ロボコン九州沖縄地区大会で両キャンパスのチームが決勝で対戦し（結果は八代チーム優勝）、両チームとも全国大会出場（結果は熊本チーム準優勝）を果たすという熊本高専の校長冥利に尽きる思いをさせていただきました。

さて、高専は60年以上の歴史の中で、ここ数年最も注目され多くの方から期待されていると感じます。しかし、全国を見渡せば受験者の確保に苦勞している高専もあります。本校は今のところ大丈夫ですが、子供の人口はこれからも減り続け15歳人口は15年後には現在の約8割に減少すると予想されています。したがって、将来を見据えて熊本高専のアピールポイントを明確にし、教職員がそれを自覚したうえで社会に発信していくことが重要だと考えています。

そのために、半導体に関する教育やリベラルアーツ教育、医療介護分野の支援技術開発、県内企業のご協力で行って

いる課題解決型のプロジェクト、国際化の強化などに取り組んでいます。「熊本高専ファーストペンギンズプロジェクト」と名付けてアントレプレナーシップ教育も始めました。さらに、情報系人材育成の要請に応じて、令和8年4月には改組も計画しています。熊本キャンパスの3学科の定員を微増するのに加え、八代キャンパスの3学科に情報系コースを新設し、それぞれの専門分野の情報をこれまで以上に活用できる人材を育てる予定です。そして、少しでも県外からの受験者を増やすべく東京と大阪で行われるKOSENFESという高専の宣伝イベントや、6月18-19日に関西万博で行われる高専の活動を紹介するイベントにも参加することになっています。

一昨年度より1～4年生が個人あるいはグループで行っているプロジェクトの発表会「熊本高専ステューデントショウケース」も2月に行っており、外部の方にも来ていただいております。昨年の会報でも紹介しました本校の「売り」である新しいコワーキングホールも会場として使用しておりますので、見学がてらにご参加いただき、後輩の活動をご覧いただくとともに温かいご声援をいただけると幸いです。

今後とも、後輩のため、熊本高専のために、皆様のご支援ご協力をいただきますようよろしくごお願い申し上げます。

令和7年度 新役員紹介

E8 中島 レイ

同窓会の皆様こんにちは。E8の中島です。この度高専機構の同居支援プログラムで北九州高専から熊本高専八代キャンパスに異動してきました。情報電子工学科はなくなっていますので、昔の機械電気工学科に相当する機械知能システム工学科に配属されました。十数年前に人事交流で熊本高専熊本キャンパスに異動したのですが、八代は卒業以来約40年ぶりです。外観はいくつか新しい建物はあるもののそう大きくは変わっておらず、ピロティーから見た景色など懐かしいと思って眺めていますが、建物の中は全く変わっていて昔の面影は全くありません。廊下が明るいです。八代高専卒業後すぐは企業に勤めたのですが、そこを4年でやめた後紆余曲折があり20年ほど前から北九州高専に勤めていました。今回、3年の予定でこちらに来ています。短い間ではありますが、よろしくお願い致します。



卒業時と変わっていない風景（その1）



卒業時と変わっていない風景（その2）

M34 上角 駿介

楷友会のみなさま、こんにちは。上角駿介と申します。

2014年に専攻科を修了後、JR西日本で新幹線の検修業務に従事していましたが、このたび技術職員として、母校に帰ってまいりました。

約11年ぶりに登校したキャンパスはリニューアルされた施設も多く、八代高専時代からの変貌ぶりにただただ驚嘆しています。せっかくの機会なので、個人的に驚いた設備・施設を3つ紹介します。

①コワーキングホール

専門棟2Fに突如現れる異空間。学生が自由に使えるスペースで、多分八代で1番おしゃれな空間。

②実習工場

エアコンが導入されていました。最高すぎる。夏の酷暑に綿100%の長袖長ズボンを着用しての実習は辛かった。。。

③Yショップ

売店がYショップに。品揃えは良くなっていますが、象の顔のミルクティーやシュードーナツが買えないのが少し残念です。

正門にある「環境は人を創る」の石碑にある通り、学校自体も時代や学生のニーズに合わせて変化しているようです。私も技術職員・OBというポジションから、学生に「良い環境」を提供できるよう尽力していきたいと思えます。



母校後援費のお礼

SPS 楷友会賞受賞

4年生「いぐさでいぐさ！」グループ

機械知能システム工学科5年 竹財 翔吾



この度は、KNIT-SPS2024において、私たち4年生のプロジェクトグループ「いぐさでいぐさ！」が最優秀賞（楷友会賞）を受賞させていただきました。2年生から4年生までのリベラルアーツ実践という授業で、3年生と4年生の時に取り組んだプロジェクトです。この活動を通して「仲間と協力」することの大切さを学びました。絶対にひとりでは出来ないことに取り組み、学科の異なる学生達と協力して、学内・学外の様々な協力者の方々にご助言、ご指導、ご協力を頂きながらプロジェクトが進みました。最終年度の昨年度、くまモンポートで開催されたクリスマスマルシェにていぐさグッズ（いぐさクリスマスリース等）の販売を行い、売り上げを「い業振興に役立てて欲しい」という思いで八代市に寄付をして

います。市報にも掲載いただきました。教室の外に出てこのような経験をする機会があったことをとても嬉しく思います。後輩たちにも地域や日本、世界に役に立つような発想と取り組みを展開してもらえると、先輩としても誇らしく感じます。最後になりますが、このような機会をくださった先生方、賞を下された楷友会の皆様、そして協力していただいた全ての方々、ありがとうございました。

※SPSとは？

KINT-Student Project Showcase 2024（熊本高専学生プロジェクト活動・探求活動発表会）のことで、最優秀賞グループには、楷友会賞として副賞を提供しています。今回は2026年2月24日（火）の開催です。

<https://kumamoto-nct.ac.jp/update/2025/03/20250310b/>

学外の社会問題に対し、熊本高専と高専の学生という看板を背負って挑戦し、年間を通して頑張っている学生達を応援・支援することで、熊本高専の地域からの評価や応援も増えていくことを期待しています。地域から応援され、より良い学生生活の思い出を作ること、同窓会会員になってから母校の応援団となってほしいと思っています。今年のお正月に開催されました大同窓会でも、本年度の学生プロジェクト活動の一助にということで、1口1,000円から多くの応援をいただきました。活用させていただいた際には、次年度の会報誌にて改めて活動報告をご紹介します。

（リベラルアーツ関連授業担当：B11期 川尾）

ロボコン部

ロボコン部部长 機械知能システム工学科4年 齋藤 広平



平素よりご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年度の高専ロボコンは「ロボたちの帰還」という、ロボッ

トを投げ、投げられたロボットが課題をこなして帰還するというルールでした。全国大会では準々決勝4回戦で敗退しましたが、正確な着地と安定したミッションコンプリートが認められ技術賞をとることができました。このような結果を残すことが出来たのも、楷友会の皆様の温かいご支援あってのことです。

現在は4月中旬頃にルールが公開された今年度の高専ロボコンにむけて、ロボットの開発、実験を進めております。今年度の競技名は「Great High Gate」です。箱を積み上げてゲートを作成し、ロボットと人の乗った台車の中を通るといったものです。

昨年度の反省を踏まえ、今年度の全国大会出場、そして優勝を目指して部員・コーチが一丸となって尽力して参ります。今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。

◆卒期・卒業年対応表

卒業年	S54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	HI	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7		
卒期	M,E,C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	MI,AC,BC	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
期	B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	-											

※新学科（MI,AC,BC）の卒期を旧学科（M,C,B）の卒期（通し）に換算する場合は、新学科卒期に36（MI,AC）または21（BC）を足す。

全国高専大会報告

男女団体で全国高専大会に出場

卓球部 建築社会デザイン工学科5年 光永 愛実

昨年度、私たち卓球部は、北海道釧路市で開催された全国高専大会に、男女団体、男子シングルス1名、女子ダブルス2組が出場しました。九州大会では全種目で入賞し、皆で良いプレーができました。

一昨年も「全員で全国大会出場」を目標に取り組みましたが、男女ともに団体戦準優勝で、悔しい思いをしました。私はその経験を毎回の練習で思い出しながら、1年間頑張りました。チーム全体でも、5年生6名を中心に、毎日ハードな練習を積み重ねました。先輩方は練習の大切さを行動で示してくださり、後輩にとっても大きな支えとなりました。優勝が決まった時は、とても嬉しかったです。

全国大会の団体戦は、男女とも3位決定戦で敗れてしまい悔しかったです。皆で楽しむことができました。私は女子ダブルスで3位に入賞しました。過去2回の全国大会では予選敗退を経験し、プレッシャーがありました。予選を1位で通過できた時とメダルをかけた時に頑張ったと思えました。

全国大会に出場するにあたり、卓球部の卒業生の方々からご寄付をいただき、旅費の一部に充てさせていただきました。応援してくださる気持ちがとても励みになり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今年もチーム全員での全国大会出場を目標に、毎日の練習を頑張っていきます。



ウインドヒル釧路スーパーアリーナにて 筆者は前列左から3人目

Gakuseikai

学生会だより

Dayori



熊本高専八代キャンパス
学生会会長

4年 園田 智駿

今年度、学生会会長を務めさせて頂きます建築社会デザイン工学科4年の園田智駿と申します。

僕が学生会に入ったのは3年生の時でした。

まだ先輩方がいてくださって、先輩の指示通りに動いたり、アドバイスを頂きながら活動したり、困った時には先輩に相談したりと、甘えられる存在でした。

いざ、自分が学生会会長になってみると、今までの学生会の活動も全然違って見え、仕事量の多さに驚きました。

でも一緒に頑張ってくれる学生会の仲間がいて、その行事を楽しんでくれる学生がいて、1つの行事を終えた時の達成感には言葉には言い表せないくらい大きな喜びがあります。僕一人の力ではできない事でも、周りの協力のおかげでできる事を、身をもって感じています。

高専生活は毎日とても楽しかったのですが、学生会に入ってからにはより楽しみが増え、友達や後輩との絆が深まり、今まで以上に充実した日々を送れています。

まだ入って間もない1年生は学校生活によく慣れてきた頃だと思えます。高専に入学して良かったと思ってもらえるよう、学生会一同、これからも力を合わせて頑張っていきます。

これからも我々学生会役員一同は学生のより良い学校生活を築き上げるために精進していきますのでどうぞよろしくお願いたします。

現在、高専祭(10/24-26)の盛会にむけて学生会と高専祭実行委員会で協力して準備をおこなっています。同窓生の皆様にもご来場いただけるとありがたいです。また高専祭の運営にあたり、ひろくスポンサーも募集しています。ご協力いただける方は、下記に連絡いただければ助かります。

熊本高専 八代キャンパス学生会 渉外局長 上田和貴
ac2373ueda@g.kumamoto-nct.ac.jp
※運営の都合上、8月20日で締め切らせていただきます。

同窓生だより

Dousousei-Dayori

健在報告

AC7 生魚 詩織

令和4年度に専攻科を卒業しました生魚と申します。近況報告のご依頼をいただきましたので、私でいいのかと思ながらも社会人3年目の所感を述べさせていただきます。

高専生活を送るなかで、故郷熊本で土木の仕事に携わりたいと思い熊本県に就職しました。担当する業務に全力を注ぐうちに、あっという間に3年目に突入しました。入庁当初は不安でいっぱい右往左往しておりましたが、少しずつ慣れ、自身のすべきことが明瞭になり仕事に対してやりがいを感じることができています。今まで考えもしなかったようなことを考えたりと、毎日を目まぐるしく過ごしています。



私は芦北地域振興局土木部工務課に配属され、主に道路改良の事業を担当しています。県道をより良くし、道路利用者の利便性向上へ寄与する仕事とイメージしていただけると分かりやすいかと思います。調査・設計段階から工事

まで幅広い業務に携わる仕事で、高専で勉強したことがとても活かされていると感じています。道路以外にも公園や港湾、河川災害に係る業務も経験しました。その中で感じたことは、自身のスキルアップのためには能動的に業務を遂行することが必要だということです。しかしながら、なかなか難しいのが現実であり、それに加え広範にわたる業務をこなすために覚えるべきことが多いのが悩みです。失敗することもあります。そこから学ぶことも多くあると思うため、負け

ずに経験を積み、今後の業務に活かせるよう努めてまいります。

上司や先輩方と一緒に仕事をしていると、自身の知識不足や経験不足を痛感しますが、一つ一つ自分の糧にし、多岐にわたる業務を楽しみながら全うしたいと思います。

仕事以外にも、健康志向が強くなってきており、運動や自炊をしないと～と感じております。ここ最近では、仕事とプライベートを両立させるのに必死です。旅行をすることが最近のマイブームで、県外旅行をした際は他の地域がどのような雰囲気なのかを思う存分楽しんでます。目標は日本全国に足を踏み入れることです。その他にも、スポーツ観戦にハマっていて、現地で飲むビールが美味しくやめられません。

仕事やプライベートでいろいろな経験を積み、これからも自分なりのペースで成長していけるよう頑張ります！

最後まで読んでいただきありがとうございました。



令和7(2025)年度 同窓会及び学校行事

令和7年(2025)			
5月24～6月4日	高校総体熊本県大会		
6月21～22日	九州沖縄地区高専体育大会		
	(ハンドボール)		
	(バレー)		
6月28～29日			
7月4～6日			
7月9～10日			
7月12～13日			
7月17～21日			
8月2日	オープンキャンパス		
8月27～29日	全国高専体育大会(熊本)(将棋)		
8月28～29日	全国高専体育大会(弓道)		
9月5～7日	全国高専体育大会(バドミントン)		
9月8～9日	九州沖縄地区英語プレゼンテーションコンテスト		
9月28日	ロボコン九州沖縄地区大会		
		10月11～12日	(大牟田市総合体育館(おおむたアリーナ)) 全国プログラミングコンテスト
			(鳥根県立産業交流会館くまびきメッセ)
		10月24～26日	高専祭
		11月7～9日	九州沖縄地区高専体育大会(サッカー)
		11月8～9日	全国高等専門学校デザインコンペティション (鯖江市嚮陽会館、まなべの館)
		11月15～18日	九州沖縄地区高専体育大会(ラグビー)
		11月16日	ロボコン全国大会(国技館)
		令和8年(2026)	
		1月24～25日	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト (国立オリンピック記念青少年総合センター)
		3月23日	卒業式 修了式

同窓会支部より

「母校ロボコンとAIの未来を 共に見つめる」

E1 福山 修一

コロナの心配がほぼなくなった昨年末、数年ぶりに関東楷友会を開催した。開催日は11月16日（土）、高専ロボコン全国大会の前日である。この日を選んだのは、母校チームの活躍を祈念し、エールを送るためだ。全国大会出場の際は、ほぼ毎回、会場の両国国技館まで足を運んでいる。母校チームは毎年のように活躍し、全国大会の常連と言っても過言ではない。その姿に非常に誇りを感じるとともに、ロボコン強豪校として歴史を刻んでいるようにさえ思う。これは、例年のロボコン課題に対する研鑽の積み重ねの賜物であろう。

私は2年前にIT関連の会社員生活をリタイアしたが、退職直前には会社のDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組んだ。その頃、ChatGPTなどの生成AIが注目され始めた時期でもあった。Excelマクロでプログラミングの実力を試したところ、その結果に驚き、生成AIの可能性を痛感した。それ以降、生成AIはさらに進化し、2030年頃にはシンギュラリティ（AI



北アルプス・八方池にて_24.10.17

が人間の知能を超える状態)に達するとさえ予想されている。自動運転などの特化型AIから、AGI（汎用人工知能）の出現へと進む流れだ。

AIが加速度的に進化する一方で、農業や土木・建築など、実際の人間の作業を代替するには、ロボットの進化も同時に必要だ。そのため、ロボッ

ト技術を習得・向上させるロボコン大会はますます重要である。こうした活動に取り組む後輩たちを誇りに思うとともに、少子化が進む日本の生産性向上や経済成長への貢献を大いに期待している。しかし、AIの知識ベースの妥当性や、意図的な判断の持ち込みには懸念もある。AIが誤った判断を下せば、人間に不幸をもたらす可能性も否定できない。したがって、AIの進化には、人類の発展のために人間が常に監視を続ける必要がある。

今後、AIやロボットがどのように進化し、人間に幸福をもたらすのか、未来を楽しみに見守りたい。そして、今年も母校が高専ロボコン全国大会に出場することを願うとともに、その前日に再び関東楷友会を開催する予定だ。関東近辺在住でSNSに未登録の卒業生は、FacebookまたはLINEで「関東楷友会」を検索・登録し、開催案内を確認してほしい。

以上

2025. 5. 7



関東楷友会_2024.11.16

楷友会関西支部 活動報告

C18 本田 英樹

楷友会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る2月28日、関西支部の幹事会(=飲み会)を大阪・梅田にて開催いたしました。

・1月2日開催の大同窓会参加者について→(こ

れに関しては関西支部長から文末に報告)

・これまでの総会の振り返りと課題、改善策の検討、その他もろもろ。

一応、まじめに支部運営について語り合っております。決して、飲み会が目的ではありません。その証拠写真がこれです↓



今回会で次回総会予定についても打合せを行い、大阪・関西万博終了後の10月18日実施で最終決定いたしました。

あ、本部幹事の皆様、関西支部総会へのご参加の回答につきまして、(各国言語で)YES・御意のいずれかで承ります。その他の選択肢はご用意できかねますのであしからず・・・

総会の詳細につきましては決定次第、関西支部ホームページ等にてお知らせいたします。

また引き続き、関西2府4県在住の皆様の関西支部への登録もお願いしております。

<https://wkaiyoukai.jimdofree.com/> (または「関西楷友会」で検索)より、連絡/問い合わせをご選択のうえご連絡いただけますと幸いです。

2025年4月19日

文責：広報 本田



ここからは、第5回大同窓会に参加した永野からの報告です。色々と趣向を凝らした同窓会を開催いただき、楽しく過ごさせていただきました。開催にご尽力いただいた皆様、有難うございました。毎年墓参りには帰っていたものの、正月はなかなか帰れずにおりましたので、実は初参加でした。よって、1期生の中には45年振りの再会となる人もいました。面影もある人もいれば、変質著しい人も・・・これも同窓会の醍醐味でしょうか？

さて、本田広報の報告にもある通り、10月に関西支部総会・同窓会を開催します。中山(新)会長もご出席予定(のはず)ですので、皆さん参加をお待ち申し上げます。大同窓会であった姫路の○美さん(伏字です)、出席ですよ。

最後に、大同窓会終了後の写真を1枚。タイトルは、「深夜にはしゃぎまわる前期高齢者たち」です。

写っている皆さんのクレームは一切受け付けません！！

関西支部 永野

ミニミニ同窓会

『八代高専第12期入学生チョコッと同窓会』

猛暑の8月連休初日、幹事の角君、尾方君の呼び掛けで、八代のとある居酒屋にて八代高専第12期入学のM・E・C科合同の同窓会が開催されました。

50代半ば26名のイケおじが集結。互いの近況を共有し、時を忘れて語り合いました。

乾杯したらあの時代にタイムスリップ！懐かしい思い出話に盛り上がりました。

中学を卒業して右も左も分からず入学、入寮。同じ釜の飯を食べた同期の桜。八龍寮で連日説教部屋へ呼び出しをくらった前代未聞のキセキ世代。

バブル絶頂期に世界に飛び出し、幾多の困難を乗り越えてこれたのは、い草畑の真ん中で過ごした青春時代、先生方や先輩方の熱心なご指導のお陰だと心からそう思います。

今まさに100年に一度の大変革期真っ只中。

今回の同窓会で、あと10年はバリバリの第一線で技術の進化伝承など、各人の取り組むべき課題に立ち向かう勇気を貰えました。

母校、仲間とのつながりはかけがえのないもの。

次回60歳の還暦同窓会で会えるのが待ち遠しいです。八代高専最高！！

牧原 賢治 (M12)



「33期生プチ同窓会」

2024年8月11日に33期生数名で同窓会を開催しました。メンバーは熊本県内、九州内在住組の10名の同窓生です。前回集まった時にゴルフの話が出たので、今回は朝からはゴルフをして夜は反省会をしようということになりました。私は同窓生とのゴルフは初めてで気心知れた仲間とのプレーはとても楽しく有意義な時間でしたが、今年の酷暑のせい？で珍プレー連発でした。夜の部では熱狂冷めやらぬパリオリンピックの話題や懐かしい思い出話に花が咲きました。一部のC科メンバーは円定規やT定規の話



で何故か盛り上がりましておりました。その中で33期生全科での卒業15周年同窓会を実施しようとの声が挙がりましてので、33期生の皆さん2026年にはご期待ください。今回の同窓会にあたり、ご支援いただきましたことを御礼申し上げます。ありがとうございました。

藤川 晃浩 (E33)



「第十期AC科同窓会」

今年の3月に建築社会デザイン工学科を卒業した仲良し9人組です！5年生の球技大会ではこのメンバーでサッカーの優勝を勝ち取った経歴があります。そんな僕ら9人の一番の思い出は、レンタカーのハイエースで長野県の軽井沢まで卒業旅行に行ったことです。普通の9人組なら「長野までハイエースで行こう」という話が出たら「それはきつからせめて新幹線で行こう」と言い出す人が一人くらいはいそうなものですが、僕らは満場一致でハイエース旅行に決定しました。深夜の高速を交代で運転して、朝明るくなってくる頃には雪景色の長野県。スノボで崖から滑落してレスキューに救助されるやつもいれば、膝を負傷して長野の整形外科に診察に行くやつもいましたが、間違いなく僕の人生最高の思い出になりました。そんな元気あふれる僕ら9人が、楷友会の一員として率先して同窓生を盛り上げていきたいと思えます！よろしくお願いします！

谷口 隼斗 (AC10)



学科近況

「AC科の学科近況」

建築社会デザイン工学科 講師 森下 功啓 (M28)

2025年は八代高専が熊本高専に生まれ変わって16年目となり、かつてのC科の流れをくむ建築社会デザイン工学科（AC科）も11期の卒業生が旅立ちました。「シアワセのありかをつくる」をキャッチフレーズに、現在では建築学を中心に土木工学などの周辺分野も学んだ学生が卒業しています。カリキュラムは徐々に変わりつつも、今でも設計演習やデザコンやJSBC（プリコン）などに精力的に取り組んでいます。なお、学内ではコロナ禍を経てコミュニケーションにTeamsを使うようになり、授業中にペンタブを使ってノートを取る学生が増え、時代の流れを感じます。

また、人手不足や諸外国に比した情報化の遅れを背景に強く情報系人材が求められており、来年度から各学科の中に特に情報を学ぶコースが新設されます。AC科でも建築や土木を軸としつつ情報技術にも取り組める人材の育成に取り組む予定です。

現在のAC科の教員は一覧表に示すように9名です。最近だと、入江先生が熊本キャンパスへ異動となり、浦野先生が久留米工業大学へ転職され、下田先生が高専機構本部を経て佐世保高専の校長になられ、橋淳先生が専門科目の基礎である数学を本格的に教授されたいと一般科へ異動されました。メンバーはずいぶん減りましたが、先生方の部屋は以前の通りですので、お気軽に立ち寄ってください。スタッフ一同、いつでも歓迎いたします。

同窓生の皆様には企業説明会や現場見学、研究や授業へのご協力、学生への指導など、いつも大変お世話になっております。ここに感謝を申し上げますとともに、今後とも建築社会デザイン工学科をよろしく願いたします。



(設計演習、現場見学、クライマックス講演会の様子)

職名	氏名	
教授	岩坪 要	森山 学
	上久保祐志	
准教授	勝野 幸司	後藤 勝彦
	松家 武樹	脇中 康太
講師	森下 功啓	
助教	川口 彩希	

< 令和7年度教職員人事異動 >

発令年月日	内容	氏名	異動前の職名	異動後の役職
令和7年4月1日	転入	中島 レイ	北九州工業高等専門学校生産デザイン工学科准教授	生産工学教育部門機械知能システム工学(MI)分野准教授
令和7年4月1日	採用	上角 駿介		技術教育支援センター技術職員

教職員だより

Kyosyokuin-Dayori

退任のご挨拶

リベラルアーツ系 五十川 読

今までお世話になった、教職員の皆様、学生さん達、そして卒業生の皆様すべての方々に心から感謝申し上げます。

ちょうどコロナ禍が始まった5年前に1年生の担任をさせて頂き、奇しくも、その皆さん達と同じタイミングでの卒業となりました。当時は、今まで世界中の誰もが経験したことのない状況で、同じ1年生の担任をされていた磯谷先生と関先生に毎週相談に乗って頂きながら5月の連休も休むことなく手探りで対応したことを懐かしく思い出します。中学を卒業して本校に入学されたばかりの皆さんが、当初、同級生と対面することもなく、スマホの小さな画面を見ながら授業を受講されている状況は、涙の出る思いでした。あれから5年、その当時の皆さんも立派に成長されてこの春にご卒業を迎えられたこと私にとっては感無量です。

振り返ってみますと、私の授業とはいえば、説明すればするほど皆寝るという悪循環でしたが、5年間の間に、学生さん達は見違えるように成長され、先輩達に続いて立派になって社会へ巣立っていかれます。現在は、大変な過渡期にあるように感じますが、それでもこれが本校の伝統であり強みだという部分は変わらず残って引き継がれてゆくのだろうと思います。

改めて、私の略歴等を申し上げます。1990年に着任し、今年まで35年間、数学を担当して参りました。学生達が「あっ、

分かった!」と理解できた時の喜びが伝わってくるのが教育の醍醐味でした。校務においては、2010年から2013年まで(平成22年~25年)の4年間、優秀な主事補の先生方や寮務係の皆様にも恵まれて、なんとか寮務主事を勤めさせて頂きました。大変なこともありましたが、一方で、改めて、寮生達、延いては本校の学生達の素晴らしさに気付かされたものでした。また、日進月歩の研究においては、たびたび取り残されながらも、大学時代の恩師や自分の後輩に助けられて、なんとか細々と続けて参りました。2年前に退職し、再雇用して頂いて、微力ながら、老害とならないよう尽力したいと思っていたのもほんの束の間のことです。

震災やコロナ禍など、大変な時期もありましたが、本当に色々な方々のお世話になりながら、あっという間に過ぎてしまったという気がしております。私は、本年4月をもって退任致しましたが、皆様のご活躍と本校の益々のご発展を祈念して、ご挨拶とさせて頂きます。



令和6年度 新クラス幹事紹介



MI科 クラス幹事 第11期 沼田 桐威

同窓会の皆様、はじめまして。この度、機械知能システム工学科のクラス幹事を務めさせていただくことになりました。沼田桐威と申します。私は本科卒業後、専攻科へ進学し、現在も学業と向き合いながら充実した日々を過ごしています。専攻科では、入学直後にクラス会が行われ、学科を越えた交流の機会に恵まれました。そのおかげで、これまで接点の少なかった人たちとも親しくなり、新たなつながりを築くことができました。それと同時に、本科で5年間共に過ごしたクラスメイトとの絆の大切さも、日々強く感じています。数えきれない思い出や支え合った日々は、今の自分の礎となっています。クラス幹事として、そんなかけがえのないつながりをこれからも大切に、皆様との親睦をさらに深めていけるよう尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



AC科 クラス幹事 第11期 西村 羽誕

この度、新しく建築社会デザイン工学科クラス幹事を務めさせていただくことになりました。西村羽誕と申します。私は本科卒業後、本校専攻科に在籍しており、現在は資格試験に挑戦しながら専攻科での勉学に励んでいます。

本科時代の思い出はどれも濃いものばかりで刺激的な学生生活だったと思います。歴代担任の先生方や5年間を共に過ごした仲間であるクラスメイトの皆さんには大変お世話になりました。個性豊かな方々に囲まれてとても楽しかったです。現在はそれぞれの地で毎日仕事・勉学に励んでいることと思います。簡単に会える距離ではありませんが、また皆さんと集まれるよう、クラス幹事として精一杯努めて参りますのでよろしくお願いいたします。



BC科 クラス幹事 第11期 山下 花

同窓会の皆様初めまして。この度、生物科学システム工学科第11期クラス幹事を務めることになりました。山下花と申します。私は本科卒業後、島根大学に編入いたしました。高専に在学していた5年間、支えてくださった先生方や、ともに切磋琢磨した同級生の存在が今の私にとって大きな支えとなっていることを深く感じています。心より感謝申し上げます。大学では新たな学びに取り組む中で、高専での経験が自然と今に活かしていることを実感する日々です。先日、高専時代の友人と久しぶりに連絡を取り合う機会がありました。お互いの近況を報告しあう中で、懐かしい思い出に触れることができました。こうしたご縁をこれからも大切にしていきたいと思っております。クラス幹事としては、微力ながら皆様の交流の一助となれるよう努めてまいります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

2024年度 大会成績一覧表

九州・西日本地区大会

【第61回九州沖縄地区高等専門学校体育大会】

■陸上			
男子100m	2位	柿本晃太郎	
男子400m	1位	水田 悠人	
■バドミントン			
女子団体	2位	小森田夏実 竹下ほのか 西村 羽誕 中村 琉那 渡邊 莉奈 坂口 奈々 永井 天那 永井 春妃	
女子シングルス	3位	小森田夏実	
女子ダブルス	優勝	小森田夏実 竹下ほのか	
	3位	西村 羽誕 永井 天那	
■水泳			
男子100m自由形	3位	河野 裕太	
男子400m自由形	2位	渡並 俊介	
男子800m自由形	2位	渡並 俊介	
■剣道			
男子団体	3位	原 匠見 佐藤 滉太 愛甲 翔吾 吉田 峻平 有馬 恵人	
女子団体	2位	笥 智晶 宮村 颯那	
女子個人戦	1位	宮村 颯那	
■柔道			
団体	2位	岩井洲剛也 太誠 悠介 迫 大佑 伊佐 魁馬 山田悠大朗 小畑 勝吾 志水 健祐	
男子66kg級	3位	迫 大佑	
男子81kg級	1位	太誠 悠介	
男子73kg級	2位	伊佐 魁馬	
■卓球			
男子団体	2位	橋本 拓未 橋岡 駿 桑原 愛翔 坂口 智哉 村上 慶起 中村 朋麒 下瀬 蒼空 福田 普人	
男子シングルス	2位	坂口 智哉	
男子ダブルス	3位	橋本 拓未 橋岡 駿	
女子団体	3位	桑原 愛翔 中村 朋麒 光永 愛実 榎田 藍 新富 柚月 勇 滯里 入江 泉樹 坂田麻衣子	
女子シングルス	3位	光永 愛実	
女子ダブルス	1位	新富 柚月 坂田麻衣子	
	2位	光永 愛実 勇 滯里	

■テニス

女子ダブルス	3位	園田 碧彩 松村 梨世
--------	----	----------------

■バレーボール

女子	3位	江崎 叶藍 寒川 知花 橋本 唯名 今村 莉子 山崎 美空 後藤 優月 古原日美香 鶴田しおり 山川凛璃子
----	----	---

■ハンドボール

女子リーグ	1位	飯谷 彩乃 佐生恵美子 竹田 真麻 林 小梅 黒木 心 平田 葵子 吉良 和佳 山内 花南 木村月乃蘭 櫻井 富稀 松田 祐奈
-------	----	---

【第10回九州沖縄地区弓道大会】

■弓道		
個人	2位	渡邊 圭登

【令和6年度熊本県高等学校空手道新人大会】

■弓道		
女子個人組手-48kg級	優勝	山尾 彩碧

【高専ロボコン2024九州大会】

天涯海角 (テンガイカイカク) Aチーム		
アイデア賞	馬越 樹	
	馬越 航	
	竹原 翔斗	
MilkyHighway (ミルクハイウェイ) Bチーム		
優勝	齋藤 広平	
	内川 龍馬	
	高山 蒼	

【高校生サイバーセキュリティ・プレゼンコンペティション(熊本県警本部)】

「フィッシング対策」または「ネット犯罪防止に向けた偽・誤情報対策」		
優秀賞	嶋津 温人	
	高松 龍希	
	吉田 日向	
	吉里 彩心	
	橋口 直弘	

全国大会

【第59回全国高等専門学校体育大会】

■剣道		
女子個人	3位	宮村 颯那
■バドミントン		
女子ダブルス	優勝	小森田夏実 竹下ほのか
■柔道		
男子73kg級	3位	伊佐 魁馬
■卓球		
女子ダブルス	3位	光永 愛実 勇 滯里

【高専ロボコン2024全国大会】

MilkyHighway (ミルクハイウェイ) Bチーム		
技術賞 (準々決勝敗退)	齋藤 広平	
	内川 龍馬	
	高山 蒼	

【Japan Steel Bridge Competition 2024】

作品名 Kuma Bridge		
総合部門 3位	鬼塚 晏利	
	木村 和真	
	中ノ瀬 玲	
	山下 遼太	
	村井陽向子	
	紙屋 勝仁	
	田副 開士	

【第16回全国高等学校鉄道模型コンテスト全国大会】

■モジュール部門		
作品名「夏の出発駅」		
ベストクオリティ賞	磯部 大樹	
ベストムービー賞	北田 陽菜	
	段本 千帆	
	永田 柁	
	米村 煌嘉	
	大森 学	

【第35回全国高等専門学校プログラミングコンテスト】

■課題部門		
テーマ「ICTを活用した環境問題の解決」		
金継ぎVR	敢闘賞	武藤淳之助
		山下 遼太
		盛高 雄寛
		脇田龍之介
		吉里 彩心
育てるエコタウン		
-誰でも楽しく環境活動-		
	敢闘賞	岩谷奏慈郎
		廣野 達徳
		緒方 亮太
		高見 勇斗
		高山 透也

■競技部門

テーマ「シン・よみがえれ世界遺産」		
whileTrue:print("HelloProcon")		
5位		石堂 優人
特別賞		嶋中 海人
企業賞 (アパナード株式会社)		高松 龍希

【第3回POLUS木造住宅インターハイ】

■造形・造作部門		
「ツルの家 ～ともに育つ～」		
	佳作	永井 天那
■設計部門		
「水の中で暮らす」	奨励賞	下田 美月
		新富 柚月
「Seanery」	奨励賞	山尾 彩碧
		田中伶央名

【第21回 全国高等専門学校 デザインコンペティション】

■空間デザイン部門		
「私の集落は柑橘色」		
三菱地所コミュニティ賞		江藤直太郎
		田中 丈裕
		徳本 蒙海
		光永 愛実

(1) 同窓会記念行事積立金 合計 7,923,612 円
 ◎積立金1 (定期預金口座) 4,524,101 円
 内訳: 4,523,298 (前年度) + 803 (定期利息) = 4,524,101円

◎積立金2 (普通預金口座) 3,399,511 円
 内訳: 3,399,511 (前年度) + 0 (今年度積立金なし) = 3,399,511円

(2) 事務局収支決算

◆収入の部

項目	予算額(円)	収入額(円)	備考
前年度繰越金	1,711,105	1,711,105	2023 (R5) 年度より
入会金	1,280,000	1,270,000	入会金: 10,000円×127名 (2024 (R6) 年度入学者), 1名はR7年度納付予定
年会費	1,400,000	1,391,400	口座自動引落 (1,800円×263名), コンビニ・郵便振込 (2,000円×332名), 令和6年度卒業生 (2,000円×127名)
寄附金	0	20,000	
預金利息	40	1,809	普通預金利息
積立金戻入れ	0	0	
その他	0	0	
計	4,391,145	4,394,314	

◆支出の部

項目	予算額(円)	支出額(円)	備考
事務手当	250,000	250,000	
事務費	370,000	323,348	Facebook管理, サーバ運営費, 振込手数料等
通信費	420,000	393,866	会報誌送付, 切手代等
会議費	230,000	194,006	コラボ九州, 支部活動本部派遣, 新幹事歓迎会, その他
会報誌印刷費	720,000	956,038	印刷費高騰による経費増 (会報誌1,600部, ダイジェスト版3,900部)
くま川祭り諸経費	0	0	2020 (R2) 年度より不参加
母校後援費	700,000	532,345	高専ロボコン支援, 熊本高専八代C図書館へ書籍91冊寄贈
大同窓会等運営関連経費	700,000	487,842	ミニミニ同窓会3件 (29名), 大同窓会 (2025/1/2開催 108名), 記念品製作費, その他諸経費
同窓会PR活動費	150,000	130,000	卒業式ケーキ代, リベラルアーツ発表会副賞, オープンキャンパスポスター副賞
会員名簿発行費	300,000	300,000	名簿管理委託, 2023 (R5) 年度卒業生希望者に名簿進呈
支部活動後援費	200,000	150,000	関東支部, 関西支部 活動支援
積立金	0	0	
予備費	351,145	0	
次年度繰越金	-	676,869	2024 (R6) 年度から2025 (R7) 年度へ
計	4,391,145	4,394,314	

◆収入の部

項目	今年度予算額(円)	前年度予算額(円)	増減	備考
前年度繰越金	676,869	1,711,105	-1,034,236	2024 (R6) 年度より繰越
入会金	1,270,000	1,280,000	-10,000	2025 (R7) 年度入学生 (新1年生126名), 2024 (R6) 年度入学生1名
年会費	1,400,000	1,400,000	0	
募金受入	0	0	0	
預金利息	2,900	40	2,860	
雑収入	0	0	0	
積立金戻入れ	0	0	0	
計	3,349,769	4,391,145	-1,041,376	

◆支出の部

項目	今年度予算額(円)	前年度予算額(円)	増減	備考
事務手当	250,000	250,000	0	
事務費	370,000	370,000	0	Facebook管理, サーバ運営等
通信費	480,000	420,000	60,000	郵便料金改定に伴い増額
会議費	230,000	230,000	0	コラボ九州 (九州地区高専同窓会) 参加など
会報誌印刷費	1,000,000	720,000	280,000	印刷費高騰に伴い増額
くま川祭り諸経費	0	0	0	2020 (R2) 年度より不参加
母校後援費	300,000	700,000	-400,000	部活支援, 学生支援, 学校支援等
大同窓会等運営関連経費	0	700,000	-700,000	次回開催は2030年1月 (予定)
同窓会PR活動費	150,000	150,000	0	卒業祝い, リベラルアーツ発表会副賞, 学生コンペ (オープンキャンパスポスター) 副賞
会員名簿発行費	300,000	300,000	0	R6年度より名簿管理・発送費を30万円/年で契約, 2024 (R6) 年度卒業生へ進呈
支部活動後援費	100,000	200,000	-100,000	関東楷友会, 関西楷友会
積立金	0	0	0	
予備費	169,769	351,145	-181,376	
計	3,349,769	4,391,145	-1,041,376	

令和6年度 本科卒業生・専攻科修了生 進路先一覧

本科卒業生就職先一覧

【機械知能システム工学科】

アルファシステムズ
 応用電機
 九州トリシマ
 JNC
 信楽牧場
 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(3名)
 JALエンジニアリング
 スズキ
 ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング
 中央エンジニアリング

DMG森精機
 東京エレクトロン (3名)
 トーテックアメニティ (2名)
 西島製作所
 平田機工 (2名)
 富士電機
 富士フィルムメディカル
 プレジィール
 ホシザキ南九
 メディア総研
 モビテック
 リーディングマーク

【建築社会デザイン工学科】

一条工務店
 エヌ・ティ・ティ・インフラネット
 エバーフィールド
 大林組
 鹿島建設 (2名)
 川崎地質
 九州電力
 熊本県
 国土交通省 九州地方整備局
 三晃金属工業
 JFEシビル
 Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(3名)

西武建設
 太平洋コンサルタント
 大和ハウス工業
 竹中工務店
 東栄住宅 (3名)
 飛鳥建設
 西日本高速道路エンジニアリング九州(2名)
 ニュージェック
 富士古川E&C
 松下産業
 溝田設計事務所
 三菱地所コミュニティ (2名)
 UNITE

横河ブリッジホールディングス

【生物化学システム工学科】

- 旭化成
- 協和発酵バイオ (2名)
- KMバイオロジクス (3名)
- 国立印刷局
- コスモ石油 (3名)
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing
- ソフトウェアビジョン
- 第一三共 (3名)
- 大日精化工業
- 太陽ファルマテック
- 中外製薬工業
- DIC
- 同仁化学研究所 (2名)
- 東洋新薬 (2名)
- 日本血液製剤機構

ファインディックス

- 不二製油
- メルシャン
- 雪印メグミルク

本科卒業生進学先一覧

【機械知能システム工学科】

- 岡山大学
- 豊橋技術科学大学
- 熊本高専専攻科 (11名)
- 熊本高専専攻科/九州大学工学部・九州
- 沖縄9高専連携教育プログラムコース (※)

【建築社会デザイン工学科】

- 京都工芸繊維大学
- 熊本大学
- 熊本高専専攻科 (9名)

【生物化学システム工学科】

- 鹿児島大学
- 九州大学
- 熊本大学
- 島根大学
- 豊橋技術科学大学
- 長岡技術科学大学 (4名)
- 熊本高専専攻科 (4名)

※熊本高専専攻科と九州大学の双方に在籍する

専攻科修士就職先一覧

- いであ
- エヌ・ティ・ティ・インフラネット
- オークマ
- 川崎重工業
- 熊本県 (3名)
- 沢井製薬
- JNC

Japan Advanced Semiconductor Manufacturing (2名)

- 住友不動産
- 西部電機
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング (2名)
- 中外製薬工業
- 東京エレクトロン
- 戸田建設
- 西日本高速道路エンジニアリング九州
- 日本アルゴリズム
- プレジール
- マイスターエンジニアリング
- 安川オートメーション・ドライブ
- リーディングマーク

専攻科修士進学先一覧

- 九州大学大学院
- 九州ルーテル学院大学

事務局からのお知らせ

年会費について

年会費 (2,000円) の徴収についてご理解とご協力をお願い

同窓会の運営は会員の皆様からの会費で賄われております。年会費の徴収にご理解とご協力をお願い申し上げます。年会費の納入方法には次の3種類があります。

①口座自動引落し

ゆうちょ口座や銀行口座より、毎年12月中に自動的に引落します。

振込の手間が省けるだけでなく、特典として年会費が1,800円に、また会員名簿が割引価格になります。

口座自動引落しを希望される方は、事務局に電話かメールにて「年会費を自動引落しにする」とご連絡下さい。手続きに必要な書類を送付します。

②郵便局・コンビニ振込

同封の年会費振込用紙にて、全国の郵便局およびコンビニエンスストアで振り込めます。

③各種Payアプリ

PayPay、au PAY、PayBをご利用いただけます。同封の年会費振込用紙のバーコードを各種Payアプリのコードリーダーで読み込み、お支払いください。

【連絡事項】

1) 会報誌に年会費の振込用紙が同封されていない方は、3月

卒業生ですすでに納入済みか、今年12月に引き落とし予定の口座自動引落しの方です。

2) 口座自動引落をされている方で、銀行への登録情報の変更により、引き落としができない方がいらっしゃいます。ご連絡いただければ書類をお送りしますので、手続きをお願いいたします。

会報誌のPDF版について

会報誌は、楷友会 Web でも閲覧できます (PDF版)。

<https://after5.y.kumamoto-nct.ac.jp/>

ID : ynctafer5 PW : S4ppNh



楷友会 Web

住所変更手続きのお願い

引越等で住所が変更になった方は、同窓会事務局へのご連絡をお願いいたします。変更は、電子メール after5@kumamoto-nct.ac.jp にて受け付けています。会員番号 (例 : M0199) または卒業年・学科と、お名前・現住所を記載ください。なお、受付の際に本人確認の質問を行いますので、ご了承ください。

編集

Editor's Note

後記

本会報誌の編集を昼休み時間にやっておりましたら、急にピアノの伴奏のあと、へおうぞらーはるかあ〜♪ と熊本高専の校歌が流れてきました。そうです、掃除の時間のはじまりです。みなさん、覚えていらっしゃいますでしょうか？ 八代高専時代も、へひい〜のくにの、なからにありてっ♪ と掃除の時間に校歌が流れてましたよね。校歌を聴くと学生時代 (教員時代も含め) のことをいろいろ思い出します。熊本高専の校歌は熊本高専 HP で聴くことが可能ですので、学生時代に思いをはせてみてはいかがでしょうか？ (吉永)